

## IBM 4674-121 POS 端末装置：セットアップ ガイド

文書番号：4674-121\_WinSetUpGuide

第 1.2 版（2002/07/03）

日本アイ・ビー・エム

### 1. はじめに

当ガイドでは、4674-121 POS 端末装置(以下 4674-121 と略記する場合があります)の動作環境、Microsoft 社の Windows2000 Professional もしくは Windows NT 4.0 Workstation を導入する際の注意事項、制限事項、導入手順および導入に必要なデバイス・ドライバについて記載いたします。

- ・ 4674-121 POS 端末装置の各部名称・機能・注意事項・問題判別につきましては本体に同梱されます“ IBM 4674 POS 端末装置：ユーザーズ・ガイド “を参照してください。
- ・ “BIOS Setup” の工場出荷値は“ IBM 4674 POS 端末装置：ユーザーズ・ガイド “に記載しております。
- ・ スタンバイ・スイッチを押してからシステム（オペレーティングシステム）が起動するまでに画面の左上に点滅したカーソルだけが表示されている時間がしばらくありますが、この間はPOS I/O コントロール・カードの POST（Power On Self Test：電源始動時自己診断テスト）をおこなっております。

### 2. 動作環境（サポート・ソフトウェア）

4674-121 POS 端末装置では、OPOS・JavaPOS 互換アプリケーションをサポートし、当アプリケーションが動作するためのプラットフォームとしての Windows の機能を検証しております。検証されている Windows の機能は、“ 7. 検証済み Windows 機能 “を参照してください。

#### 2.1. オペレーティングシステム

- ・ Microsoft 日本語 Windows 2000 Professional
  - Service Pack 2 を導入する必要があります。
- ・ Microsoft 日本語 Windows NT 4.0 Workstation（日本語版）
  - Service Pack 6a を導入する必要があります。

注）上記以降のバージョンの Service Pack については、確認され次第、ガイドを発行いたします。

注）4674-121 POS 端末装置は ACPI/APM をサポートしていません。ただし、メインボード上には、ACPI/APM 互換インターフェースは存在します。

#### 2.2. ミドルウェア

- ・ IBM Point of Sale Subsystem for Windows（Ver.2.3.0 以降のバージョン）
- ・ IBM OLE for Retail POS（Ver.1.5.0 以降のバージョン）
- ・ IBM JavaPOS for IBM Point of Sale（Ver.1.5.1 以降のバージョン）

ミドルウェアの特記事項については“ 8. ミドルウェアに関する特記事項 ”を参照してください。最新のミドルウェアは下記の URL より入手できます。

<http://www2.clearlake.ibm.com/store/support/html/drivers.html>

注) “IBM JavaPOS for IBM Point of Sale” は 2002 年 6 月時点では、Ver.1.5.0 です。  
Ver.1.5.1 はまもなくリリースの予定です。

### 2.3. アプリケーション

- ・ 上記ミドルウェアに準拠したアプリケーション

### 2.4. デバイス・ドライバー

IBM 4674-121 POS 端末装置用として、以下のデバイス・ドライバーを提供いたします。

#### Windows 2000 Professional 用

- チップセット・ドライバー
- Ultra ATA ドライバー
- ディスプレイ・ドライバー
- イーサネット・ドライバー
- AC'97 オーディオ・ドライバー (ラインアウト使用時、または AC'97 オーディオ・コーデックが必要な場合)
- タッチパネル・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)
- シリアルポート・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)

#### Windows NT 4.0 Workstation 用

- ディスプレイ・ドライバー
- Ultra ATA ドライバー
- イーサネット・ドライバー
- タッチパネル・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)
- シリアルポート・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)

### 2.5. その他のソフトウェア

- ・ CD-R/RW 書込み用ソフトウェア, B's Recorder GOLD5 (CD-RW フィーチャー選択時に同梱されま  
す)

### 3. Windows 導入時の注意事項

#### 3.1. インストール時のパーティション作成に関して

4674-121 POS 端末装置は 20.4GB の大容量ハードディスクを搭載しているため、DOS, Windows 95/98 等の FDISK ではパーティションの作成が正しく行えません。このため、4674-121 POS 端末装置に Windows2000 または Windows NT 4.0 を導入する場合、必ず Windows 2000 または Windows NT 4.0 の導入の過程で行われるパーティションの作成をご使用ください。なお、パーティションの作成方法につきましては Microsoft Windows 2000/NT4.0 のマニュアルを参照してください。

#### 3.2. CD-ROM から起動したい場合

4674-121 POS 端末装置の出荷時設定では、システムの起動の順番が

- 1 番目: FDD (フロッピー・ディスク・ドライブ)
- 2 番目: HDD-0 (プライマリー・マスターのハードディスク・ドライブ)
- 3 番目: CDROM (CD-ROM ドライブ)

となっております。このため、HDD のマスター・ブート・レコードが設定された状態では CD-ROM から起動できない場合があります。CD-ROM から起動したい場合、以下のように設定してください。

1. スタンバイ・スイッチを押してシステムを起動します。
2. 起動直後、画面の下の方に “Press DEL Key to enter SETUP” と表示されている間にキーボードの Delete (削除) キーを押してください。これにより BIOS セットアップ・モードに入ります。
3. 表示されたメニューの左側・上から 2 番目の “Advanced BIOS Features” をカーソル・キーで選択し、エンター・キーを押してください。
4. 上から 8 番目の “Second Boot Device [HDD-0]” にカーソルを移動し、エンター・キーを押してください。
5. “CDROM [ ]” のところに “ ” をカーソル・キーにより移動し、エンター・キーを押してください。
6. 上から 9 番目の “Third Boot Device [CDROM]” にカーソルを移動し、エンター・キーを押してください。
7. “HDD [ ]” のところに “ ” をカーソル・キーにより移動し、エンター・キーを押してください。
8. エスケープ・キー (ESC) を押してメイン・メニューに戻ります。
9. 右側・下から 2 番目の “Save & Exit Setup” をカーソル・キーで選択し、エンター・キーを押してください。
10. “Save to CMOS and EXIT(Y/N)? Y ” というポップアップが表示されますので、エンター・キーを押してください。

なお、CD-ROM 起動での作業が終了後、上記手順の 4 ~ 7 を以下の方法に置き換えて設定を元に戻してください。

- 4'. 上から 8 番目の “Second Boot Device [CDROM]” にカーソルを移動し、エンター・キーを押してください。
- 5'. “HDD-0 [ ]” のところに “ ” をカーソル・キーにより移動し、エンター・キーを押してください。
- 6'. 上から 9 番目の “Third Boot Device [HDD-0]” にカーソルを移動し、エンター・キーを押

してください。

7'. “CDROM [ ]”のところに“ ”をカーソル・キーにより移動し、エンター・キーを押してください。

## 4.Windows 導入時の制限事項

### 4.1.Windows 2000 Professional

#### 4.1.1.Service Pack 2

4674-121 POS 端末装置は “Windows 2000 Service Pack 2” によりサポートされるチップセットを使用しているため、必ず “Windows 2000 Service Pack 2” を導入してください。

“Windows 2000 Service Pack 2” はマイクロソフト社より入手してください。

なお、“Windows 2000 Service Pack 2” は 2002 年 6 月 5 日現在、下記 URL よりダウンロード可能です。

<http://www.microsoft.com/japan/windows2000/downloads/servicepacks/sp2/download.asp>

### 4.2.Windows NT 4.0 Workstation

#### 4.2.1.Service Pack 6a

4674-121 POS 端末装置は “Windows NT Service Pack 6a” によりサポートされるチップセットを使用しているため、必ず “Windows NT Service Pack 6a” を導入してください。

“Windows NT Service Pack 6a” はマイクロソフト社より入手してください。

なお、“Windows NT Service Pack 6a” は 2002 年 6 月 5 日現在、下記 URL よりダウンロード可能です。

[http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/nt4sp6/download\\_i386.htm](http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/nt4sp6/download_i386.htm)

#### 4.2.2.ブート・パーティションの作成に関して

4674-121 POS 端末装置には 20.4GB のハードディスクドライブが搭載されておりますが、Windows NT4.0 の導入の際に自動検出されるハードディスクのサイズが 8GB となっており、またセットアップ時に作成されるブート・パーティションも 4GB までに制限されております。これは Windows NT4.0 のインストーラーの制限です。詳細は下記 URL を参照してください。

Microsoft サポート技術情報: JP119497

<http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/jp119/4/97.htm>

#### 4.2.3.ブート・パーティションを NTFS で作成する場合

ブート・パーティションのフォーマットを NTFS にした場合、導入途中の自動再起動後の画面表示がおかしくなることがあります。この時にインストーラーはファイルシステムを FAT から NTFS へコンバートしており、この際が表示がおかしくなるのみでそれ以降の導入作業は正常におこなえることを確認しております。

4674-121 に Windows NT4.0 を導入される場合には、FAT でフォーマットすることを推奨します。

#### 4.2.4.インストール時に表示される全ディスク・サイズに関して

4674-121 POS 端末装置に搭載されているハードディスクのサイズは 20.4GB ですが、Windows NT を導入

するパーティションの作成・選択時に全ディスクのサイズが 8191MB と表示されます。これは、Windows NT の導入時に使用される ATAPI.SYS の制限によるものです。

全ディスク・サイズの表示が正しくされなくても Windows NT4.0 の導入が可能であることを確認はしておりますが、正しいディスク・サイズを表示するためには下記の URL を参照して導入してください。

Microsoft サポート技術情報: Q197667

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;JA;q197667>

上記 URL の手順は Windows NT 4.0 の導入を CD からの起動でおこなわず、**ディスク起動により導入した場合**に正しく行われることを確認しております。

## 5. インストール手順

### 5.1. Windows 2000 Professional

以下の手順に従い、Windows 2000 を導入してください。

デバイス・ドライバの導入の際は必ず Administrator 権限でシステムにログオンしてください。

#### 5.1.1. 導入前の準備

##### 5.1.1.1. CD-ROM デバイスの接続

Windows 2000 Professional の導入には CD-ROM デバイスを使用いたします。

- CD-ROM および CD-RW フィーチャーが搭載されている場合、それを使用して導入を行ってください。
- CD-ROM および CD-RW フィーチャーが搭載されていない場合、PCI SCSI カード + 外付け SCSI CD-ROM を使用して導入をおこなってください。

##### 5.1.1.2. PS/2 キーボード、マウスの接続

Windows 2000 Professional の導入時のキーボード入力に本体の POS キーボードのモード・キーを PC ʼ ポジションにすることによりキー入力することが可能ですが、PS/2 キーボードやマウスデバイスを接続することにより、より導入時のキー入力・選択操作が簡単に行えます。

PS/2 キーボード、マウスを接続する際は、PS/2 キーボードは本体前面の PC キーボード・コネクタに、マウスは本体背面の USB もしくはマウス・ポートに接続してください。

#### 5.1.2. Windows 2000 Professional およびデバイス・ドライバの導入

1. スタンバイ・スイッチを押しシステムを起動してください。
  2. CD-ROM デバイスの取り出しボタンを押し、トレイに Windows 2000 の CD-ROM をセットしてください。
  3. システムの POST (Power On Self Test: 始動時自己診断テスト) 終了後、自動的に Windows 2000 の導入が開始いたします。パーティションの設定、ディスクのフォーマット、その他導入する Windows コンポーネントはお客様の設定でおこなってください。
    - CD-ROM の挿入が POST 終了後の場合、画面に " Boot from ATAPI CD-ROM ... Press Any Key to boot from CD " と表示されますので、PC キーボードより何かキー・インしてください。
  4. タッチパネル・フィーチャーが搭載されている場合、" 5.1.2.1. タッチパネル・ドライバー、シリアルポート・ドライバーの導入 " を行ってください。
  5. Windows 2000 の導入終了後、Windows 2000 Service Pack 2 を導入してください。この導入の際は必ず Administrator 権限でシステムにログオンしてください。
  6. Windows 2000 Service Pack 2 の導入後、システムを再起動してください。
  7. 再起動後、チップセット・ドライバーを導入します。
    - チップセット・ドライバーの入手方法については " 6. デバイス・ドライバーの入手 " を参照してください。
- ダウンロードしたファイルを実行し、圧縮されているファイルを解凍します。

解凍後、DISK1 ディレクトリーにある " SETUP.EXE " を実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。

導入完了後、システムを再起動してください。

8. 再起動後、Intel Ultra ATA Storage Driver の導入します。

- Intel Ultra ATA Storage Driver の入手方法については " 6. デバイス・ドライバーの入手 " を参照してください。

ダウンロードしたファイルを実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。

導入完了後、システムを再起動してください。

再起動後、“再起動してください”というポップアップが表示されますので、再度、再起動してください。

9. 再起動後、ディスプレイ・ドライバーの導入します。

- ディスプレイ・ドライバーの入手方法については " 6. デバイス・ドライバーの入手 " を参照してください。

ダウンロードしたファイルを実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。

導入完了後、システムを再起動してください。

再起動後、「ユーザズ ガイド」9 ページの“ディスプレイの調整”をおこなってください。

10. 再起動後、イーサネット・ドライバーの導入します。

- イーサネット・ドライバーの入手方法については " 6. デバイス・ドライバーの入手 " を参照してください。

ダウンロードしたファイルを実行し、圧縮されているファイルを解凍します。

解凍したディレクトリーにある " SETUP.EXE " を実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。

導入完了後、ネットワークのプロパティーをお客様の設定にあわせて変更してください。

11. 必要に応じて、AC '97 オーディオ・ドライバーを導入してください。

- AC '97 オーディオ・ドライバーの導入はラインアウト使用時、また、AC '97 オーディオ・コーデックの機能が必要な場合のみ導入をおこなってください。

12. 以上で、POSS、OPOS および JavaPOS の導入を行う準備ができました。導入に関しては、下記 URL を参照してください。

IBM ストアシステム URL : <http://www-6.ibm.com/jp/store/index.html>

#### 5.1.2.1. タッチパネル・ドライバー、シリアルポート・ドライバーの導入

1. Windows 2000 導入後のシステム起動時・ログオン後、画面に“新しいハードウェアがみつかりました (PCI シリアルポート)”というポップアップが表示されます。

- シリアルポート・ドライバーの入手方法については " 6. デバイス・ドライバーの入手 " を参照してください。

ダウンロードしたファイルを実行し、圧縮されているファイルを解凍します。

解凍したファイルをフォーマットしたディスクにコピーしてください。

で作成したディスクを FDD に挿入し、導入するドライバーの検索先にフロッピーディスクを指定してください。

その後、画面指示にしたがい導入を行ってください。

2. 導入完了後、タッチパネル・ドライバーを導入します。
  - タッチパネル・ドライバーの入手方法については "6. デバイス・ドライバーの入手" を参照してください。

ダウンロードしたファイルを実行すると 3 つの自己解凍式圧縮ファイルが C:\¥TW562SR2 に作成されますので、そのファイルを実行しフォーマットしたディスク (3 枚) 宛に解凍してください。

4674-121 に一時ディレクトリーを (C:\¥temp 等) 作成し、ディスクのファイルを全てコピーしてください。
3. ディスクのファイルをコピーした一時ディレクトリーにある Setup.exe を実行してください。
4. 画面の指示に従い導入をおこなってください。なお、下記の選択肢が表示されるものについては、デフォルト値をご使用ください。
  - "Please choose the controller that matches your hardware" : [Serial]
  - "Default Calibration Type" : [2-point calibration]
  - "Select Installation Type" : [Express Install]
5. "MicroTouch Touchscreen" のポップアップ画面が表示されます。
6. "Calibration" を選択し、タッチパネルのキャリブレーションを画面の指示に従いキャリブレーションを行います。
7. 画面左下に指差されているマークを (Touch Enable" 表示が出るまで押しつづけてください。
8. 画面右上に指差されているマークを (Touch Enable" 表示が出るまで押しつづけてください。
9. "Calibration Complete" ポップアップが表示されます。
10. 画面のポップアップ以外のところをタッチして正しくキャリブレーションされているか確認してください。
11. OK なら [Done] をタッチし、キャリブレーションを終了してください。

## 5.2. Windows NT 4.0 Workstation

以下の手順に従い、Windows NT 4.0 を導入してください。

デバイス・ドライバーの導入の際は必ず Administrator 権限でシステムにログオンしてください。

### 5.2.1. 導入前の準備

#### 5.2.1.1. CD-ROM デバイスの接続

Windows NT 4.0 Workstation の導入には CD-ROM デバイスを使用いたします。

- CD-ROM および CD-RW フィーチャーが搭載されている場合、それを使用して導入を行ってください。
- CD-ROM および CD-RW フィーチャーが搭載されていない場合、弊社担当者に御相談ください。

い。

#### 5.2.1.2. PS/2 キーボード、マウスの接続

Windows NT 4.0 Workstation の導入時のキーボード入力に本体の POS キーボードのモード・キーを PC ʼ ポジションにすることによりキー入力することが可能ですが、PS/2 キーボードやマウスデバイスを接続することにより、より導入時のキー入力・選択操作が簡単に行えます。

PS/2 キーボード、マウスを接続する際は、PS/2 キーボードは本体前面の PC キーボード・コネクタに、マウスは本体背面のマウス・ポートに接続してください。

#### 5.2.2. Windows NT 4.0 Workstation の導入

1. ディスケット・ドライブに Windows NT 4.0 起動ディスク 1 を挿入してください。
2. スタンバイ・スイッチを押しシステムを起動してください。
3. CD-ROM デバイスの取り出しボタンを押し、トレイに Windows NT 4.0 の CD-ROM をセットしてください。
4. 以降画面の表示に従い、ディスクットを入れ替え Windows NT4.0 の導入を行います。パーティションの設定、ディスクのフォーマット、その他導入する Windows コンポーネントはお客様の設定でおこなってください。
5. Windows NT 4.0 の導入終了後、Windows NT 4.0 Service Pack 6a を導入してください。この導入の際は必ず Administrator 権限でシステムにログオンしてください。
6. Windows NT 4.0 Service Pack 6a の導入後、システムを再起動してください。
7. 再起動後、Intel Ultra ATA Storage Driver の導入します。
  - Intel Ultra ATA Storage Driver の入手方法については ” 6. デバイス・ドライバーの入手 ” を参照してください。
  - ダウンロードしたファイルを実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。
  - 導入完了後、システムを再起動してください。
8. 再起動後、“再起動してください” というポップアップが表示されますので、再度、再起動してください。
9. 再起動後、ディスプレイ・ドライバーを導入します。
  - ディスプレイ・ドライバーの入手方法については ” 6. デバイス・ドライバーの入手 ” を参照してください。
  - ダウンロードしたファイルを実行し、画面の表示に従い導入をおこなってください。
  - 導入完了後、システムを再起動してください。
  - 再起動後、「ユーザズ ガイド」 9 ページの “ ディスプレイの調整 ” をおこなってください。
10. 再起動後、イーサネット・ドライバーの導入します。
  - イーサネット・ドライバーの入手方法については ” 6. デバイス・ドライバーの入手 ” を参照してください。ダウンロードしたファイルを実行すると圧縮されたファイルが解凍されます。解凍された

ファイルをすべてディスクットにコピーしてください。

「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。

[アダプタ]のタブを選択し、“追加” ボタンをクリックします。

「ネットワーク・アダプタの選択」画面で“ディスク使用” をクリックします。

先ほどファイルをコピーしたディスクットをディスクット・ドライブに入れ、“OK” ボタンをクリックします。

「OEM オプションの選択」画面に“Realtek RTL8139/810x Family PCI Fast Ethernet Adapter” が表示されますので、それを選択し“OK” ボタンをクリックしてください。

以上によりイーサネット・ドライバーが導入されました。お客様の必要なプロトコル・サービスを設定した後「ネットワーク」画面を閉じ、システムを再起動してください。

11. 9. 以上で、POSS、OPOS および JavaPOS の導入を行う準備ができました。導入に関しては、下記 URL を参照してください。

IBM ストアシステム URL : <http://www-6.ibm.com/jp/store/index.html>

#### 5.2.2.1. タッチパネル・ドライバー、シリアルポート・ドライバーの導入

1. ダウンロードしたファイルを実行してください。
  - シリアルポート・ドライバーの入手方法については”6. デバイス・ドライバーの入手” を参照してください。
  - 画面の指示に従い、ドライバーの導入をおこなってください。
2. 導入完了後、システムを再起動してください。
3. 再起動後、タッチパネル・ドライバーを導入します。
  - タッチパネル・ドライバーの入手方法については”6. デバイス・ドライバーの入手” を参照してください。
- ① ダウンロードしたファイルを実行すると3つの自己解凍式圧縮ファイルが C:¥TW562SR2 に作成されますので、そのファイルを実行しフォーマットしたディスクット(3枚)宛に解凍してください。
- ② 4674-121 に一時ディレクトリーを(C:¥temp 等)作成し、ディスクットのファイルを全てコピーしてください。
4. ディスクットのファイルをコピーした一時ディレクトリーにある Setup.exe を実行してください。
5. 画面の指示に従い導入をおこなってください。なお、下記の選択肢が表示されるものについては、デフォルト値をご使用ください。
  - "Please choose the controller that matches your hardware" : [Serial]
  - "Default Calibration Type" : [2-point calibration]
  - "Select Installation Type" : [Express Install]
6. 導入完了後、システムの再起動をしてください。
7. 再起動時に "MicroTouch Touchscreen" のポップアップ画面が表示されます。

8. "Calibration" を選択し、タッチパネルのキャリブレーションを画面の指示に従いキャリブレーションを行います。
9. 画面左下に指差されているマークを(Touch Enable" 表示が出るまで押しつづけてください。
10. 画面右上に指差されているマークを(Touch Enable" 表示が出るまで押しつづけてください。
11. "Calibration Complete" ポップアップが表示されます。
12. 画面のポップアップ以外のところをタッチして正しくキャリブレーションされているか確認してください。
12. OK なら[Done]をタッチし、キャリブレーションを終了してください。

## 6. デバイス・ドライバーの入手

4674-121 POS 端末装置用のデバイス・ドライバーは、弊社・ストアシステムのホームページにて公開しておりますので、そちらよりダウンロードしてご使用ください。

IBM ストアシステム URL : <http://www-6.ibm.com/jp/store/index.html>

なお、4674-121 POS 端末装置に導入が必要なデバイス・ドライバーは下記の通りです。

### Windows 2000 Professional

- チップセット・ドライバー (INTEL i810e)
- Ultra ATA ドライバー (INTEL i810e)
- ディスプレイ・ドライバー (INTEL i810e)
- イーサネット・ドライバー (REALTEK RTL8100B)
- AC '97 オーディオ・ドライバー (REALTEK ALC201A, ライン出力使用時、または AC '97 オーディオ・コーデックが必要な場合のみ)
- タッチパネル・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)
- シリアルポート・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)

### Windows NT 4.0 workstation

- ディスプレイ・ドライバー (INTEL i810e)
- Ultra ATA ドライバー (INTEL i810e)
- イーサネット・ドライバー (REALTEK RTL8100B)
- タッチパネル・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)
- シリアルポート・ドライバー (タッチパネル・フィーチャー選択時のみ)

## 7. 検証済み Windows 機能

4674-121 POS 端末装置は、下記の表に基づいて検証作業を行っております。

機能・デバイス	Windows 2000	Windows NT4.0	注意事項
<b>システム機能・デバイス</b>			
プライマリー・ディスク	20GB		
セコンダリー・ディスク	20GB マスター / スレーブ・スワップ・スイッチ使用可能		
CD-ROM	24倍速読込		
CD-R/RW	24倍速読込・8倍書込		CD-RW書込みソフトが同梱され ます
Fast Ethernet	100/10 Base-T Ethernet		NetBEUI, TCP/IP protocolを使用し たクライアント接続
ディスプレイ	10.4" カラー-SVGA液晶ディスプレイ または 12.1" カラー SVGAディスプレイ		解像度 800x600、24bitカラー表示 が可能です。
APM 2.0 / APCI	APM2.0および ACPIの動作 はサポートしていません。	使用不可	APM2.0, APCI互換機能を搭載し ておりますが、APM2.0および ACPIの動作はサポートしてあり ません。
シリアル・ポート	COM1: 3F8 IRQ4 COM2: 2F8 IRQ3		
タッチ・パネル	タッチパネル・フィーチャー選択時のみ COM3を使用します。		
パラレル・ポート	LPT1: 378 IRQ7		
USB	USBスキャナー・USBマウス	使用不可	
ゲームポート	使用不可		
PS/2キーボード・ポート	前面PS/2キーボード・ポートを使用		
マウス・ポート	本体背面マウス・ポートを使用		
<b>拡張性</b>			
マルチ・モニター	Windows 2000のマルチ・モ ニター機能により使用可能 です。	使用不可	Windows 2000の提供する機能と しての動作のみ確認してありま す。
オーディオ機能	AC '97 Audio機能によりライ ンアウト端子を使用可能で す。	使用不可	
外部 UPS	使用可能です 自動シャットダウン機能は UPSのデバイス・ドライバ ーにより提供されます。	自動シャットダウンは使用 不可です	
<b>POSデバイス</b>			
POS キーボード	4685-K01 互換 (SIO Address: x'1C')		キーマトリックスが 4685-K01 と 違います。詳細は"4674-121 POS 端末装置: ユーザーズガイド"を参 照してください。 モードキーの"PC モード" 4674 で のみ提供される機能です。 "FAT Finger"機能は提供されませ ん。 インディケータLEDは提供され ません。
磁気ストライプリーダー	4685-K01 互換		
POS プリンター	4689-TD5 (RS485 I/F) 互換		レシート・ニアエンド・センサー が搭載されておりません。
漢字かなディスプレイ	4694 漢字かなディスプレイ		
英数カナディスプレイ	4695 英数カナディスプレイ		

機能・デバイス	Windows 2000	Windows NT4.0	注意事項
<b>ハンディー・スキャナー</b>			
4685-S01	RS485 I/F または USB I/F	RS485 I/F	
4685-L0A	RS485 I/F		
4685-L0D	RS485 I/F		
<b>固定スキャナー</b>			
4685-L0F	RS485 I/F		ハンディー・スキャナーを同時に使用する場合は、Standard USB タイプの4685-S01をご使用下さい。
4698-101/201	RS485 I/F		
<b>キャッシュ・ドロアー</b>			
4674-121用キャッシュ・ドロアー	4694 キャッシュ・ドロアー互換		

### 7.1. 周辺機器の接続について

当製品に周辺機器を接続する場合、発表レターに明記したものの以外の機器（RS232C, USB, PC キーボード, PS/2 Mouse, PC Printer, PCI Adapter Card 等）を接続される場合、また、「2. 動作環境（サポート・ソフトウェア）」に記載されていないソフトウェアを導入する際には、事前に稼動確認テストを十分におこなった上でご提案・ご使用ください。

## 8. ミドルウェアに関する特記事項

### 8.1. IBM OLE for Retail POS

#### 8.1.1. ドロアー

- ・ WaitForDrawerClose メソッド

タイムアウトによりビープ音はなりません。

#### 8.1.2. POS キーボード

- ・ キー配列

キー配列は下記の通り (16 進数) です。

右上の 2 つのキーはキーロックが「システム」の場合、括弧内の値となります。

キーを押すと、KEYDOWN のデータイベントのみ発生し、KEYUP は発生しません。

キーロックが「PC モード」の時は、キーデータは PS/2 ポートに入り、POS キーボードのデータイベントは発生しません。

6A	69	68	67	66	65	64	63	62	6F	6E	6D (00)
5A	59	58	57	56	55	54	53	52	5F	5E	5D (01)
4A	49	48	47	46	45	44	43	42	4F	4E	4D
3A	39	38	37	36	35	34	33	32	3F	3E	3D
2A	29	28	27	26	25	24	23	22	2F	2E	2D
1A	19	18	17	16	15	14	13	12	1F	1E	1D
0A	09	08	07	06	05	04	03	02	0F	0E	0D

#### 8.1.3. 磁気ストライプリーダー

- ・ TrackToRead プロパティ

TrackToRead プロパティの設定にかかわらず、読ませた磁気ストライプカードの種類によって、Track2Data および Track4Data にそれぞれ JIS-1 (ISO) および JIS-2 のデータがセットされます。ただし、将来の互換性のため、アプリケーション・プログラムでは要求トラックを正しく設定するようにしてください。

#### 8.1.4. POS プリンタ

- ・ CutPaper メソッド

Percentage パラメータに 100 を指定してもパーシャルカット (中央部 1 点残し) になります。なお、エスケープ・シーケンスを用いて用紙をカットする場合、カットのパーセンテージを示す '#' の設定にかかわらず、“フィードとカットとスタンプ印刷 (ESC|#P)” は常にフルカット、“フィードと用紙カット (ESC|#fP)” は常にパーシャルカットとなります。

す。

- PrintBitmap メソッド

PrintBitmap メソッドで縦 30 ドット以上のビットマップを印刷すると、縦約 30 ドットごとに白線が入ります。

### 8.1.5. トーンインジケータ

- Sound メソッド

Sound メソッドの pitch パラメータは 3 段階の音程を設定できます。下記に参考値を示します。

低 : 1000

中 : 1500

高 : 2000

## 8.2. IBM JavaPOS for IBM Point of Sale

JavaPOS に関しては、Version 1.5.1 の正式リリース時に別途お知らせいたします。

## 8.3. サポート・ホームページ

下記の URL では OPOS/JavaPOS サポートに関する最新の情報を提供しております。こちらも合わせてご参照ください。

<http://www-6.ibm.com/jp/store/techInfo/middleware/index.html>

## 特記事項

IBM は IBM Corporation の商標です。

Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他このガイドに記載されている社名・商品名およびロゴマークは、一般に各社の商標または登録商標です。

## 変更履歴

発行日	改訂番号	変更内容
2002/06/24	第 1 版	初版
2002/06/26	第 1.1 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.2, OLE for Retail POS のバージョンを Ver.1.4.5 -&gt; Ver.1.5.0 に訂正</li> <li>2.2, URL の記載追加</li> <li>“ 8.ミドルウェアに関する特記事項 “ の追加</li> </ul>
2002/07/03	第 1.2 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ 1.はじめに “ にユーザーズ ガイドについての記載追加</li> <li>“ 5.1.2 ” ディスプレイのオートアジャストについての記載追加</li> <li>“ 5.2.2 ” ディスプレイのオートアジャストについての記載追加</li> <li>“ 7.1.周辺機器の接続について “ の記載修正</li> </ul>